

臨川小だより

4月号

令和5年4月6日(木)
渋谷区立臨川小学校

令和5年度の始まりにあたり

校長 河口 尚志

春の温かい日差しが臨川小学校の校庭に降り注いでいます。

4月6日、新しい年度が始まりました。子供たちを迎えようとこの日まで咲いてくれた桜の花びらたちが、進級を祝ってくれました。進級した子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。



この度ご縁があり、区内の上原小学校より、この臨川小学校に着任いたしました、校長の河口尚志(かわぐちひさし)です。

前任の佐伯孝司校長の後を受け継ぐとともに、臨川小の1人1人の子供たちが生き生きと輝き、安全で楽しい学校生活を送ることができるよう、全力で学校経営に取り組んでいく所存です。保護者、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。

新しい学年や環境への期待に胸を膨らませ、様々に思いを馳せていることでしょう。

本日の入学式では、52名の1年生が新たに小学校生活の第一歩を踏み出しました。

新1年生を迎え、本校は今年度、12学級とつくし3学級の合計365名の児童と教職員総勢48名での大きな船出となりました。子供たちの夢、希望、期待を乗せ、本日、大海原に出航しました。



さて、本校の教育目標は次のとおりです。

やさしく つよく かしこく

今年度も「かしこく」を重点目標とし、主体的な学びを通して「確かな学力」「生きる力」を育てていきます。

1つの目標に重点を置いて取り組むことで、波及効果が生まれ、結果的にすべての目標達成につながっていきます。

この目標を実際に具現化していくのが本校の教職員です。

授業や行事等、すべての学校生活の中で、教職員が一丸となり、子供たちのために力を発揮します。さらに、

- 自信とやる気を持ち、互いにかかわり合い、高め合う子供
- 教育のプロとしての自覚を持ち、常にスキルを磨き続ける教師
- 保護者や地域から信頼され、誇りに思える学校

という子供像、教師像、学校像を目指し、学校と家庭、地域がそれぞれの役割を十分に果たしながら、子供たちの健全な成長に向けて共に歩んでいきたいと思ひます。

保護者、地域の皆様には、昨年度同様、引き続き学校を支えていただきますようお願ひいたします。